

令和3年8月

魚津市定例記者会見



日時：令和3年7月30日(金) 午後1時30分～午後2時00分

場所：市役所第一会議室

報道出席者：北日本新聞社、富山新聞社、北陸中日新聞社、読売新聞社、NHK、

市当局出席者：市長、情報広報課長

1. 市長からの発表事項

(1) 令和3年度魚津市総合防災訓練について

- ・ 8月1日の日曜日に実施する。メイン会場は経田地区。サテライト会場は市東部区域中心に7地区。関係機関としては経田地区自主防災会のほか7地区の30団体が参加する。なお去年は、住民参加型の訓練を中止し、職員を対象とした災害対策本部訓練、避難所開設・運営訓練等を実施している。
- ・ 被害想定は魚津断層帯を震源とするM7.3の地震が発生し、魚津市で震度7を観測し、津波到達の恐れ、火災発生、強風による延焼の恐れがあり、さらに大雨警報も継続中で複合災害が予想されるというもの。
- ・ 住民の参加による訓練としては、シェイクアウト訓練や避難所への避難・運営の訓練を行う。関係機関による訓練としては物資供給訓練、応急救護訓練、被害情報集約訓練を実施する。また今回、新たな取り組みとして臨時災害放送局の開設訓練を実施する。
- ・ 今回の訓練の特徴は、①総務省北陸総合通信局や株式会社新川コミュニティ放送とともに臨時災害放送局の立ち上げ訓練を実施し、実際に放送も行う。②ソフトバンク株式会社の協力のもと、小学校5～6年生を対象に、人型ロボット「Pepper」とともに、防災について学ぶ。③ドローンのフライト訓練を行うなどがある。
- ・ 臨時災害放送局立ち上げ訓練は、総務省北陸総合通信局、株式会社新川コミュニティ放送（ラジオ・ミュー）、魚津市の3者の連携により行う。8月1日の午前8時30分に魚津商工会議所ビルの屋上にアンテナを立ち上げ、放送を行う。災害情報というより、今回の訓練の様子を親しみやすく放送したい。なお、この訓練が実現することになったのは、令和2年2月に株式会社新川コミュニティ放送と魚津市が締結した「災害時における臨時災害放送局開設の協力に関する協定」によるものである。

- (2) 東京2020パラリンピック聖火フェスティバル魚津市採火の実施について
- ・ 8月15日(日)の15時からありそドームの屋外展示場での開催を予定している。参加者に火起しセットを使用し火起しを行ってもらい、ろうそく等に点火した火を代表者がランタンに火を移すイベント。その火は富岩運河環水公園親水広場で開催される県主催の「パラリンピック聖火(富山県の火)出立式」へ運ばれる。現在参加者を募集中。安全対策をしっかりとって実施したい。
- (3) シネマ・ミラージュ2021および Summer Table の開催について
- ・ シネマ・ミラージュ2021は、夜のミラージュランドで実施される初の野外上映会で、賑わいづくりの一環として昨年からの企画検討していたもの。8月21日(土)の17:00に開場し、上映開始は18:45から。上映作品は「グラン・ブルー」。感染症対策の為、定員200名の完全予約制で実施する。ドリンクコーナーやキッチンカーによる飲食の提供も準備中だが、感染状況に応じて柔軟に対応する予定。
 - ・ Summer Table ー海と向き合うー は、海を感じながら魚津の食を楽しむ食のイベント。シェフは hamadaya LABO の浜多雄太さんと 海風亭 の美浪呂哉さん。日時は8月21日(土)と8月22日(日)の2日間。雨天の場合は1週間順延。ランチは入れ替え制で2回実施し、ディナーは1回のみ。定員は各回16名に限定して実施する。
- (4) 「東京大学体験活動プログラム」地域活性化策発表会を開催します
- ・ 7月より既にスタートしている。東京大学と連携し、学生が自ら魚津の地域課題を考え政策提言を目指す事業。8月21日(土)には、2か月間の成果発表及び政策提言を行う「地域活性化策発表会」を開催する。参加するのは東京大学の12名と地元からは魚津高校と新川高校からそれぞれ4名。テーマは「自ら考える地域活性化策を実践する旅」。大学生自身が考える地域課題を踏まえた解決策を、地元高校生と協力しながら実際に実践することにより、ファーストペンギン(リスクを恐れず初めてのことをするベンチャー精神の持ち主)を目指す。昨年もこの企画を開催したが、ぜひ実践に結びつくよう取り組みを進めていきたい。
- (5) 令和3年度 第35回全日本大学女子野球選手権大会について
- ・ 実施に向けて調整を行っている。会期は8月28日(土)~30日(月)、会場は桃山運動公園野球場と天神山野球場。新型コロナウイルスの状況が流動的で断言できないが、規模を縮小しての開催を予定している。観戦者については感染予防対策ガイドラインを遵守して「有観客」の開催を目指している。
- (6) 魚津の農林水産業 体験・応援プロジェクト8月に開催する「親子体験会」はこちら

- ・ 7つのコースで1年間にわたり行っている。8月は、海から山までまるごと体験できる「夏休み特別体験会」を開催する。8月3日(火)に魚津の海・山・里をオール体験ということで、経田浜での地引網体験、ブルーベリー摘み採り、片貝山ノ守キャンプ場において林業機械作業のVR体験を行う。
- ・ そのほか8月は、「くだもの」については小川寺地内のぶどう園で収穫や贈答用箱づめ体験、「やさい」は吉野地内で新川だいこんの種まき作業などを体験する。

(7) 初心者・高齢者のための「スマホ教室」第2弾の開催について

- ・ 1回目の開催が大人気だった。再度の開催を期待する声が多く、8月25日(水)に開催することになった。場所は埋没林博物館の研修室。前回と同様、午前と午後に分けて、スマホを持っていない方向けとスマホを持っている方向けの教室を開催する。今後も開催を計画しており、9月は図書館での開催を予定している。また、より地域に密着した開催ができないかとの声もあるため、今後は各地区振興会が主体となった開催も検討している。

2. 質疑応答の内容

「全日本大学女子野球選手権大会」について

《記者からの質問》

現段階で今大会に参加を希望している大学について教えてほしい。

《回答》(市長)

正確な数はわからないが、現在のところは関東から関西にかけて10大学ほどと思われる。

「ワクチン接種」について

《記者からの質問》

ワクチン接種の副反応について、接種された方からの声は届いているか。また、他の自治体では小学生などを優先的に接種するところもあるが、市独自でこの年代に実施したいなどの考えはあるか。そのほか、若い世代から接種したいのに受けられないとか、打ちたくないとかの声はあるか。そして、今後のワクチンの供給については大丈夫か。

《回答》(市長)

まず、ワクチンの接種データをお知らせしたい。7月29日現在、65歳以上で1回接種された方は13,046人、接種率にすると90.1%、2回接種された方は11,576人、接種率

にすると80.4%となっている。65歳未満で1回接種された方は6,472人、接種率にすると27.5%、2回接種された方は2,431人、接種率にすると10.3%となっている。副反応については、重篤な事例については聞いていない。私個人の接種後の感想としては、翌日左手が痛かったというのはある。私の妻の場合は翌日少し熱が出てだるいと言っていた。多くの方がその程度の副反応があったのではないかと思っている。ワクチンの予約については、7月20日ごろに新聞に折り込みチラシを入れ、予約の開始時期をお知らせしている。12歳以上の児童・生徒については7月21日に接種券を発送している。(医療機関で受ける個別接種の)予約の受付も同時に開始しているが、予約を入れた人はまだ半分以下とのこと。ぜひ夏休み中に接種してほしい。今後も医師会などを通じて接種の呼びかけを行っていきたい。接種したいのに受けられないという話は聞こえてこない。打ちたくないと思っている若い人がいるというのは聞いたことがあるが、その考え方が主流なのかはわからない。自分だけでなく他の人の安全のためにもぜひ受けてほしい。ワクチンの確保については、8月末までの分については問題ない。それ以降の分については確定していないが、ワクチンが届かないので予約を取り消したりするような状況ではない。

「県が新川文化ホールに造るこども屋内レクリエーション施設」について

《記者からの質問》

7月29日に県が主催したレクリエーション施設の検討会で県から提出された案についてどのように思っているか。その施設を県の施設として運営してほしいとの考えに変わりはないか。

《回答》(市長)

天気の悪い日が多いこの北陸地方で、子どもたちが安心して遊べる空間を早急に造ることが大事だと思っている。色々な付加機能を加えるためにスケジュールが遅れてくるとなると、それはどうなのかと思う。施設の運営主体についてどう思っているかは、特に変わりはない。ただ県が直営する必要があるとは思っていない。県には整備の方を主体的にしっかり進めてほしい。運営の方法についてはまだ議論の余地がある。県がイニシアチブを取っていくことが重要だと思う。

「次期衆議院選挙」について

《記者からの質問》

先日村椿市長は、衆議院議員選挙に富山2区から立候補予定者である上田英俊さんの選対統括責任者に就任されたが、経緯などについて聞きたい。市長はご自身の市長選

では無所属で立候補し、当選されたが、今回自民党候補の選挙の応援をすることについてどう考えているか。また公務との両立についてはどうするつもりか。

《回答》（市長）

上田英俊さんが国会議員に手を挙げられたが、国のためだけでなく地元市町村の発展・課題解決のためにもがんばってほしいとの思いから、他の自治体の首長とともに応援していくことになった。事務所を魚津に設置されるということなので、一番距離的に近い私にやってもらえないかとの声がかかり、引き受けることとなった。党派については意識していない。地域の課題を実現してくれる人を応援するつもりだ。私としては市のことを一緒に考える「市民党」の意識でやっていく。市の公務との両立については、まず市の公務を優先してしっかりやっていきたい。